

第1回透析室勉強会の報告

5月1日付で当院の透析センター長に就任しました津田勝路医師が、病院の目標の一つである”人材育成”の一環として、透析室で従事するスタッフに向けて勉強会を開催しました。

テーマは「ウイルスとワクチン」で、新型コロナウイルスを中心にコロナウイルスの構造やワクチンの種類について話されました。また、ファイザー社製 mRNA ワクチンの抗体が産生されるまでの機序については、①ワクチンを接種すると mRNA が体内に取り込まれる ②筋肉細胞内で mRNA から SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質が産生される ③スパイクタンパク質に対する中和抗体が産生、細胞性免疫応答が誘導される ④SARS-CoV-2 による感染症の予防ができる、というように詳細な内容について学ぶことができました。



質疑では「先生ならどのメーカーのワクチンを選択するか?」、「自分は B 型肝炎ワクチンを接種しても抗体ができず、コロナワクチンも 2 回接種したが、なんの副反応も現れず、抗体ができにくい体質なのか?」、「透析患者はかなり多くの薬を服用しているが、特別注意しないといけないことは?」などなど、多くの質問がありました。管理栄養士さんの参加もあり、非常に活発で有意義な勉強会でした。最後に定期的な勉強会の開催を津田先生にお願いし、集合写真を撮って終わりました。